

## 福岡県内の青年がコロンビア福岡県人会を訪問しました

2月20日から28日の9日間の日程で、福岡県内の青年4名をコロンビア共和国カリ市へ派遣しました。このプログラムは、海外福岡県人会を訪問し、移住の歴史や現地産業等への理解を深めることで、県内青年の目を広く海外に向けることを目的とするもので、今年で6年目になります。

滞在中は、コロンビア日系人協会を訪問したり、ホストファミリーや高齢者の方々からのお話を通じて、移住の歴史を学ぶとともに、コーヒーやサトウキビ農園などを視察しました。実際に自分たちの目で見たり、生の声を聞いたりすることで、本やインターネットでは知り得ないさまざまなことを学び、現地へ足を運ぶことの大切さを実感しました。県人会の皆様をはじめ多くの方々と交流し、お互いの国や家族、ルーツなど様々なことについて語り合った経験は、青年たちにとって忘れられないものになりました。これらの貴重な経験を通して、青年たちが今後、福岡県と海外県人会との懸け橋となって、グローバルに活躍してくれることを大いに期待します。



(コロンビア福岡県人会の方々)



(コーヒー農園視察)



(ハベリアナ大学訪問)

## 県費留学生在1年間の留学生生活を修了



(1年間みんなで協力して頑張りました)

3月13日、福岡県移住者子弟留学生9名の留学証書授与式が開催されました。彼らは、無事に1年間の留学生生活を修了できたことについて、関係者の方々に感謝の意を表しました。また、この留学中に学んだ専門分野等について発表しました。学業のみならず、日本文化や歴史を学ぶ等、さまざまな経験を積み、ひとまわり成長した彼らの、母国県人会での更なる活躍に期待します。

※留学生の報告書(日本語のみ)は、当財団ウェブサイトに掲載しています。  
 日本語のトップページで「子弟留学生」と検索してください。

<https://www.kokusaihiroba.or.jp/>

## 世界で活躍する福岡県人による講演会を開催

本県の若者のグローバル化を図るため、世界で活躍する福岡県出身者を講師としてお迎えし、さまざまなテーマによる講演会を始めて6年目になりました。今回は、香港福岡県人会会長の渡辺大輔氏(「渡辺大輔有限公司」・「Cipangodb」代表)にお越しいただき、12月18日と1月15日の2日にかけて、渡辺氏の母校である東福岡高校(福岡市)のほか、明善高校(久留米市)、中村学園女子高校(福岡市)の3校で、ご講演いただきました。

3校あわせて240名を超える高校生たちに向けて、渡辺氏は、香港に渡ったきっかけや起業に至るまでのエピソード、若いうちから海外に目を向けることの意義など、熱いメッセージを送りました。今回の講演を通して、一人でも多くの若者たちが、世界へ向け大きな一歩を踏み出してくれることを願っています。



(東福岡高校にて)



(明善高校にて)